

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2018

2月号
vol.619

月刊

周友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

「働き方改革」

（企業の人財確保そして定着のために）

21世紀型
自立型
企業づくり

熱血社長が『やさしい未来』を語る

前田 雅史 氏 [株式会社お掃除でつくるやさしい未来]

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと



AR動画が見られます!

ARアプリ「COCOAR2」のダウンロード方法は
P2をご覧ください

福岡同友会へ Message

大牟田柳川信用金庫 理事長

こやなぎ としあき
小柳 敏昭 氏



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、「同友会3つの目的」を掲げられ、地域経済の発展、会員中小企業経営者の皆様の成長発展をめざし、ご尽力されていることに心から敬意を表します。

私ども大牟田柳川信用金庫も、地域金融機関として、その使命を自覚し、地域経済の発展と金融サービスの充実・強化に努め、地域の皆様から必要とされる金融機関をめざしてまいりました。おかげさまで、昨年5月に創立100周年を迎えることができ、これもひとえに、地域の中小企業者の皆様、地域住民の皆様のおかげと感謝するとともに、次の100年に向け、決意を新たにすることができ、

私ども大牟田柳川信用金庫も、地域金融機関として、その使命を自覚し、地域経済の発展と金融サービスの充実・強化に努め、地域の皆様から必要とされる金融機関をめざしてまいりました。おかげさまで、昨年5月に創立100周年を迎えることができ、これもひとえに、地域の中小企業者の皆様、地域住民の皆様のおかげと感謝するとともに、次の100年に向け、決意を新たにすることができ、

また、私どもでは業務提携以来、昨年5月と12月に同友会県南地区主催のセミナー「成巧大学」にコラボ企画として、中小企業診断士資格を有する職員を講師として派遣させていただき、互いに能力向上、親睦を図っているところでございます。

今後も「わが町応援隊」として中小企業の発展と地域経済の活性化に取り組んで参る所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

大川信用金庫 理事長

こが たくみ
古賀 巧 氏



東京一極集中、地方の人口減少が進む中、現政権において日本全体の活力を上げることを目的として地方創生に取り組んでおりますが、その中でも中小企業は地方における安定した雇用創出の面で大きな役割を担っており、国による中小企業向けの支援施策は積極的に拡充されております。

このように中小企業の役割が国をあげて見直されている中、一般社団法人福岡県中小企業家同友会の三つの目的「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」および「国民や地域とともに歩む中小企業」という理念は、当金庫の基本方針「地域社会繁栄へのご奉仕」「地元中小企業の健全な発展のサポート」「豊かな家庭生活実現へのお手伝い」と深く関るものであり、今後さらに重要性を増していくものと考えております。

当金庫においては、平成22年より「地域活性化のための地域貢献事業」として、悩み・課題を抱える地元中小企業に専門家を派遣することで課題解決のサポートを行っております。この取り組みは、企業の事業基盤強化を促すものとして地域密着型金融の柱の一つと考えております。

情報化社会に入り経済環境が激しく変動する中、当金庫単独での中小企業支援には限りがあるものと思われれます。今後も福岡県中小企業家同友会をはじめ様々なネットワークを構築し、面的な支援を積極的に行なっていくことで地域中小企業の発展に貢献していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

月刊同友2月号 自立型企業づくり はみだしレポート

社会福祉法人明日へ向かって
林田 悠紀子(中央支部)

同友会に入会はしていたけれど、体育会系のプレイングマネージャーとして男性社員を率いて仕事にまい進していた前田さんは、ほぼ休眠状態でした。当時のブロック担当副支部長の大神さんと一緒に会員訪問したのをきっかけに同友会活動に復帰され、支部長まで経験されました。

さらにご自身のビル四階からの転落事故による入院生活で「理念経営」の大切さに気付かれ、大きく方向転換！その後、山形で開催された青全交で学んだことを取り入れて、子育て中のお母さんの「働ける時間に働いてもらう」短時間労働のシステムで全国展開中！

中小企業の人手不足が深刻ですが、前田システムはその解決の突破口になるのでは？と期待しています。



株式会社
お掃除でつくる
やさしい未来
代表取締役
前田 雅史 氏
(中央支部)

本誌p8 掲載

《前田さんの結婚エピソード》
独立するために勤めていた会社を退職したその足で彼女(当時)の家にいき、「独立するために会社を辞めました。結婚して下さい」とプロポーズした前田さん。
横で聞いていたお義母さんが「あなたに手伝えることがあるんじゃないの？」と後押しして下さったそうです。周りの人が応援したくなる前田さんらしいエピソードと思っています。

【今月の表紙】 撮影・文 間々田正行(九州の取材.com メニイデイズ 福博支部)



福岡県内有数の胡蝶蘭産地である糸島市。ここで11年前、胡蝶蘭を主に扱う花の販売会社「花神社」を立ち上げたのが青年支部の吉村和義さん(写真右)です。もともと花の生産農家で、ご尊父が糸島を蘭の名産地にしたいとの思いで蘭栽培を始めた先駆的存在でしたが、和義さんの代で販売に特化。現在、蘭づくりでは福岡県ナンバーワンとの評価が高い三坂廣明さん(同左)の三坂園芸などと契約し、九州はもとより、関東・関西の顧客へ届けています。「蘭の大敵は寒さ。直射日光を避け、2週間に1回程度の水やりで長持ちしますよ」と吉村さん。個人向けにも販売しているそうなので、華やかな花々で春を彩ってみてはいかがでしょうか。お問い合わせは電話092-327-0600(FAXも同じ)。

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと
AR動画が見れます!

①ARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロード(無料)

App Store | Google Play Store

COCOAR2 検索

②「COCOAR2」を起動し、表紙をスキャンし、読み込んでみましょう。認識すると自動でコンテンツが流れます。

SCAN!!

働き方改革

企業の人財確保そして定着のために

Work Style Reform

少子高齢化・人口減少など様々な課題が影響し、いま「働き方改革」が叫ばれています。「処遇改善・正規雇用推進」「長時間労働是正」「ダイバーシティ（多様な人財）」「ワーク・ライフ・バランス」などで「働き方改革」を促進する必要があります。同友会では早くから『労使見解』〜人間尊重の経営〜を提唱してきました。その実践は企業における人財確保と定着に密接に関係しています。先月号に引き続き、会員企業の具体的例を紹介いたします。

Interview 03

一貫生産企業ならではの改革 多能工化でスタッフのスキルが上がった

宮田織物株式会社 代表取締役

吉開 ひとみ氏（福友支部）

文章／菅原 弘（東支部）
写真／旭 晋平（事務局）

創業100年目に 4代目社長に就任

宮田織物(株)は創業大正元(1913)年、筑後市で久留米緋の幡屋としてスタートしました。昭和40(1965)年に綿入れ半纏の製造を開始し、昭和48(1973)年のオイルショックで飛躍的に需要が伸びました。最盛期の60年代には50万枚を生産したと言います。平成10(1998)年には婦人服ブランド「彩藍」を立ち上げました。久留米緋への原点回帰とお客様視線を重視し、オリジ



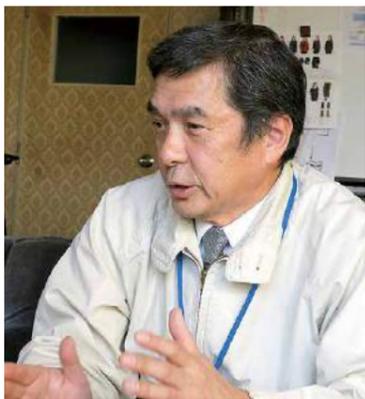
吉開ひとみ氏

ナルのモノづくりに思いを込めています。今や繊維製品の国内自給率は3%ともいわれ、宮田織物のように一貫生産する

女性の感性を活かしたい

「現在スタッフは総勢70名弱、その8割が女性です。女性の感性がとても大切なんです。地元の方に多く働いていただいています」と吉開さんは話します。さらにベトナムからの実習生を14名受け入れていきます。女性に長く働いてもらうために考慮すべきことは、結婚・出産・子育て、そしてスムーズに職場に復帰してもらうことです。

平成に入りバブルが弾けると、ローコスト商品が出回り、供給過多で主力商品の綿入れ半纏の売り上げが激減しました。「リストラをするかどうかの瀬戸際まで行きましたが、それを思いとどまらせた



社内で『働き方改革』を推し進める國武啓二氏

のは経営理念でした」と吉開さん。同社の理念は「一隅を照らす」とあります。自分の置かれた場所でベストを尽くして周りを照らしましょう。小さい光はやがて大きな光となって全体を照らしていくということです。

「まず社員が笑顔にならなければ、お客様を笑顔にできませんよね。社員が長く安心して働ける環境をつくらなれないといけないと思いました」

そこで「働き方改革」を推し進める國武さんにお話を伺いました。「わが社で

は早くから短時間正社員制度を導入していました。さらに、就業規則の見直しをすることにしたのです」
國武さんは大手ハウスメーカーに勤務していました。畑違いに思える業界への転職えにも「組織づくり」の考え方は同じです。中小企業なら会社全員の顔はもちろんのこと、性格や家族構成まで分かれます。何よりいいところは意思決定が早いことです。具体的な取り組みとして、

「残業をしない」「有給休暇消化の率先」そして「ジョブローテーション」があります。労働基準監督署とも相談の上、進めてきました。「制度によっては助成金が出る場合もあります」と話します。

多能工化が出てくる

同社では一本の糸を選ぶところから始まり、デザイン・生地織り・縫製、そして販売まで一貫して行なっています。産休・育休で人が長く抜けてしまうと、製造に支障をきたしてしまいます。そこで取り組んだのがジョブローテーションです。「織り」は機械化が進んでいますが、ミシンによる作業は熟練の技が必要です。綿入れ半纏では最後の工程に「手とじ」と言っても気を使う作業があります。各工程を必要に応じて人員の入れ替えを行い、場合によっては代替要員を採用します。

休んでいるスタッフにも会社の状況が分かるように連絡を欠かしません。「スムーズに復帰できるようにすることもとても大切な要因です」。さらにスタッフが復帰後も代替要員の方にも、引き続き働いてもらうようにしています。

セクションにおいては専門性の高い分野もありますが、出産であればそれなりの期間があるので、計画的に取り組んでいます。

同社では「多能工化」と呼んでいます。複

数の工程をこなすことでスタッフのスキルが向上すること。各工程で重なり合う部分で次の工程でどのように引き渡せばよいかと心配りができるようにしたこと。安心して働ける場所があることは、会社への帰属意識が高まりますよね。こうして社内のモチベーションが高まっていくのでした。

社内コミュニケーション

同社の特徴的な活動に「木鶏会」という勉強会があります。雑誌「致知」を使用した小グループでの意見交換会で、美点凝視、いいところを見つけようという取り組みです。初めは社内に拒否反応もあったそうですが、吉開さんの強い希望で続け、やがて効果が見られるようになってきます。社内のコミュニケーションが活発になり、他社とのコラボや販路拡大なども生まれました。さらに毎年開催の地域向けイベントで「ファッションショー」をしようということになり、企画・演出・動員など様々なアイデアが出てきました。「女性ならではの発想です」と笑顔を見せる吉開さんです。



上がった半纏についた糸くずを取る作業

さらに木鶏会の感想文を提出してもらい、吉開さん自らがコメントをつけています。個人面接も定期的に行なっています。このようなコミュニケーションを取ることが働き方改革に繋がっています。こうして伝統を学びつつ、新しい知識を持ってオリジナルの製品を生み出す取り組みは続いていきます。「スタッフのおかげです」と嬉しそうに話す吉開さんでした。

POINT!!

- 1 短時間正社員制度の導入
- 2 ジョブローテーションで多能工化
- 3 コミュニケーションを重視して信頼を構築する



ベトナムからの実習生も働いています

Interview 04

『社長！わたし園長やりたいです!!』 働く人のやる気を出させる理念の具現化

株式会社OZ Company

代表取締役

小津 智一氏 (糸島支部)

文章／菅原 弘 (東支部)
写真／旭 晋平 (事務局)

企業内保育施設

今回訪問したのは、福岡同友会代表理事を務める田浦通さんの会社、株式会社シティーライン（糟屋郡志免町）です。企業内保育施設があるというので覗いてみました。

㈱シティーラインは物流業で、業界の慢性的な人材不足は大きな社会問題となつています。平成29（2017）年4月に企業内保育所を開設させ、ハローワークで



小津智一氏

求人募集したところ瞬く間にスタッフが集まったと言います。「昔は男性が多い職場でしたが、いまでは集配した荷物のピッキングや配送ドライバーなど女性が増えてきています」と田浦さんは語ります。この企業内保育施設「にじいろ保育園」を運営しているのがOZ Companyです。社長の小津智一さんと園長の貞方さんにも同席していただきました。

小津さんの失敗学

小津さんの今日に至る経緯について伺いました。小津さんはとある会社で働きつつ自ら子育てもしていて、企業内保育施設というビジネスモデルを早くから抱いていました。平成20（2008）年7月に長崎で企業内保育施設を立ち上げ、うまくいけると見込んで独立してこの事業に取り組みました。しかし保育園というのは、子どもを見

くなくて、待つことができるようになったんですね。アイデアも出るようになっていきました。口コミで園児も増え、働き手も増えていきました。
「人員を増やす前に比べると人件費は18%増えました。でも社員はイキイキと働くようになりました。理念を自分で作っておきながらブレていたんですね」と苦笑いの小津さんです。前にも増して社員とのコミュニケーションを取り、自主性を促していきました。

社員のモチベーション向上

基本勤務時間は8時15分から17時45分とし、8時15分から9時30分、9時30分から15時、15時から17時45分でシフトを組んでいます。そして、チームで成果を挙げるようにしています。

同席していただいた貞方さんは、もとも別の保育園に勤務していましたが、結婚・出産・育児のために退職しました。



取材で訪れた時はお昼寝の時間でした



同席いただいた貞方園長

短時間でもいいから働きたい、社会とかわりを持ってほしいとの気持ちから同社で働くことにしました。理念を理解し、自主性を重んじる社内環境に魅せられました。

シティーライン社内保育園の開園に際し「社長、わたし園長やりたいです」と直訴したのでした。貞方さんは現在も短時間社員ですが、責任感を持って任務にあたっています。保育士の資格を持つママ友にもこの会社が楽しいと誘っています。また、同社では、園児たちの様子や業務内容など、社員間の情報共有はLINE（スマートフォンアプリ）を使って行なっています。

小津さんの右腕のマネージャーが、社員の意見・要望、クライアントとのコミュニケーション・有給休暇の調整などを行っています。有休は1時間単位で認めています。

「内閣府も助成金を出して待機児童対策に乗り出しています。保育士の資格を

るだけが仕事ではないということに気づいたのです。保護者とのコミュニケーション、イベント企画・実践、日報の作成など、仕事を就業時間中にこなせずには持ち帰ることは日常茶飯事で、スタッフは疲弊してしまい退職していくのでした。「この仕事をしろ、でも残業するな...これじゃ辞めますよね」と小津さんは当時のことをこう話します。

経営者の覚悟

創業して4年、そろそろ資金も底をつきそうになってきました。スタッフの離職が多くては、クライアントから契約解除に追い込まれそうです。

業務軽減・残業をさせないためには人員を増やさなければなりません。しかしそれでは収益が減ってしまいます。小津さんは葛藤の日々でした。

そこで自ら作成した経営理念を振り返りました。「父親、母親、子どもたちの笑顔を広げていく会社」。経済性（収益）ばかりを考えている自分がいました。小津さんは大いなる決意を持って人員を増やすことにしました。

その結果、残業が減っていき、園長に心の余裕が生まれてきたのです。周りのスタッフに対する心遣いが目に見えてよくなり、園内の雰囲気も改善されていき

所持している人にもチャンスの時です」

社会とかわりを持ってほしい

小津さん自身、NPO法人ファザリング・ジャパン九州を設立し、現在は理事を務めています。父親であることを楽しみ、イク・ボス（部下を育てるボス）として活躍しています。社員にも仕事以

外で社会に関わりを持つことを勧め、社会に貢献し、人間として成長してほしいと願っています。実際に、陶芸教室を体験し、カリキュラムに取り入れたり、リミックスの実験を経験して工夫したりする社員が増えています。小津さんは「理念の具現化の重要性を実感している」と結んでいただきました。

POINT!!

- ① 全社員とし、同一労働・同一賃金とする
- ② 細かいシフトをつくり、チームで成果を挙げる
- ③ 経営理念を浸透させ、ベクトルを合わせる

プラス・ワン

（株式会社シティーラインの場合）企業内保育施設を設置し、求人募集したところ瞬く間に応募があった。

ふた月にわたつての特集では3つの共通点を見いだすことができました。

- ① 経営理念を社内で共有する
- ② 会議やクラウドツールを利用して情報の共有を図る
- ③ 安心して働ける環境をつくる、これは経営者の責任であり、トップダウンで進める

働き方改革 編集後記

「人を生かす経営」の実践が「働き方改革」に直結していることを確認しました。



にじいろ保育園 スタッフの皆さん



熱血社長が「やさしい未来」を語る

～会社の強みを仕事に合わせる～

オレには同友会があった

平成13（2001）年、エイエス九州（有）として法人化しました。知人の勧めで同友会に入会したものの、活動にはあまり参加しませんでした。

サラリーマン時代は優秀な成績を取っていた前田さんですが、世の中そう甘くありませんでした。「なんでもします」というスタイルで、3K（キツイ・キタナイ・キケン）を地で行く毎日でした。抱える従業員はやんちゃな社員が多く、借りていた事務所を追い出される始末でした。

ある日、住所変更気づいた中央支



会社外観

部の会員たちが、ひょっこり新しい事務所を訪ねてくれました。「そうだ、オレには同友会があったんだ」。腰を落して着けて経営の勉強をしようと思いましたが、例会には出席しましたが、懇親会には出ず現場に戻りました。「同友会では経営理念が大事だと言いますが、その頃の自分の中では釈然としていませんでした」と前田さんは振り返り話します。

「あ、まだオレ生きている」

平成21（2009）年、スタッフは15名ほどになっていました。大手企業を退職したKさんに現場監督として手伝ってもらい、前田さん自身は相変わらず現場を走り回っていました。

8月のある暑い日、事故が起こりました。前田さんは作業中にビルの4階から落ちてしまったのです。安全ベルトを十分に掛けておらず、落下。地面に叩きつけられた瞬間、激痛が体を通り抜けました。かすかに「あ、オレまだ生きている」と思ったそうです。

その後長期入院を余儀なくされました。さらに悲劇は続きます。身動きの取れない病棟のベッドの上の前田さんに知らせが届きます。「Kさんが車の運転中に気を失って衝突事故を起こしました!」。早く現場に戻りたい...そうもがく前田さんでした。

株式会社お掃除でつくるやさしい未来
代表取締役

まえだ まさし
前田 雅史 氏

中央支部

前田雅史さんは語ります。「私たちは製造業です。何をつくるかというところ「やさしい未来」です。その手段が「お掃除」なんです」その社名に込めた熱い思いを取材しました。

取材 広報部
文章担当 菅原 弘（東支部）
写真 真 富谷 正弘（玄海支部）

株式会社
お掃除でつくるやさしい未来

創業 1999年9月
住所 春日市一の谷1-135
電話 092-915-0160
従業員数 100名[男性4名、女性96名]
(うち正規8名)
HP-URL <http://www.osouji-mirai.com/>
事業概要 マンション、アパートの共用部のお掃除、ハウスクリーニング・店舗クリーニング・エアコンクリーニングなどお掃除に関する業務全般。



自分が輝いていた頃を

前田さんは昭和44（1969）年、北九州市小倉南区で生を受けます。生まれて右足が悪く、小学2年生まで時々車いすを使用していました。スポーツ好きの前田さんは、医師の許可を得て水泳を始め、中学に入るとバレー部に属しました。バレー部のキャプテンになってからは、まったく鳴かず飛ばずの部を「燃える軍団」に変身させ、県大会ベスト8まで勝ち進みました。「自分らしく輝いていた時期でした」と振り返ります。心のどこかで「組織づくり」の喜びが芽生えていたのでしょう。

高校卒業後は1年ほど水泳のインストラクターをしていましたが、改めて大学の定時に通いました。当時から独立志向が強く、「組織づくり」をしたかったと思っていました。しかしすぐには起業せず、いわゆる他人の釜の飯を食うべくシャッターの製造・販売会社に就職しました。人一倍負けず嫌いの前田さんは営業成績も好調でした。

感銘を受けた言葉

入院中に中央支部の会員さん数名が数冊の本を差し入れに持ってお見舞いになりました。その一人から「前田君、君は何故いま生きていると思う?」と問われました。前田さんは深く考え、「もし神様というものがいるなら、こう言われている気がします。『よう、前田。おまえはまだやるべきことがあるから死なせはしないぞ』ってね」と答えました。するとその人は「わたしもそう思う。だから来期、副支部長やってくれ」。そう言い残していきました。

差し入れてくれた本の中の一冊に、『ディズニールランドの伝説の接客』の話がありました。ウォルト・ディズニール氏の理念を判断基準に行動した女性の接客が、前田さんの心の琴線に触れ、いっしょに涙が出ました。「そうか、人は死んでも、理念は死なないのだ」と病床で気づいた瞬間でした。退院後、同友会で学んで経営理念を作成し、現在では『世代を超えて愛されるものをお掃除でつくる』という理念にたどり着きました。そして、2年間副支部長を務め、さらに支部長も経験しました。

全国大会での学び

理念も作成し、会社の体制を整備し

そうしているうちに、同友会から「青年経営者全国交流会in山形」の案内が届きました。分科会の案内で「3時間農業が地域と市場を変えた」の文言が目にとまりました。「おかあさん、3時間だけ農業しませんか?」と続きます。「これだ!」と思った前田さんはさっそく山形へ学びに行きました。「この『お掃除』版をつくらばいいんだ!」。時間の制約のない仕事を譲り、女性を3名採用して新しい組織はスタートしました。



春日市「赤ちゃんの駅」に登録しています



事務所内においてあるキリンのモニュメント

会員増強運動を支えた4種の神器

～増強は仕組み作りとその継続がポイント～

日時：2017年11月29日(水)18:00～21:00 場所：振興センター301会議室
内容：2009年会員297名から2017年に602名になった長崎同友会の報告です。



ハード面の報告

報告者：松尾 慶一氏 長崎同友会 代表理事
白山陶器株式会社 代表取締役社長

長崎同友会で会員増強活動で使用している「4種の神器」を紹介していただきました。

神器① 同友会紹介紙芝居

F6(320mm×407mm)サイズのスケッチブックなので持ち運び便利。イラストや文字で分かりやすい言葉で表現している。めくったページの裏側には、説明文が書かれているので、誰でも使いこなせるのが特徴。インパクト大!



長崎同友会紙芝居画像(一部抜粋)

神器② ポスター

会員公募で作成。取引銀行内に貼っていただいた。



神器③ 会員之章

会員企業の玄関先に掲示。訪れた方が質問してくれる。



神器④ 会員名簿

常に携帯し、仲間と連絡を取りあえる。



ソフト面の報告

報告者：山領 進氏 長崎同友会前佐世保支部長
株式会社広告のアクセス 代表取締役

佐世保支部での取り組みや会員増強のメリットをお話しいただきました。会員増強のメリットとして、

- ① 会員は辞書の1ページ: 新しい会員は新たな師を迎えることになる
- ② 会の活性化: 新しい会員が新たな息吹を吹き込み、停滞していた空気が動き出す
- ③ 社会的なステータスがアップ: 数は力! 「よい経営環境をつくる」ための必要条件
- ④ 多面的な活動が可能になる: 会員が増えることで各種の委員会活動が可能になり、会員様の様々な経営課題にも柔軟に

を挙げ、「多面的な活動を実現するには、会員数は、重要な要素」だとお話しいただきました。

増強DAYの設定

訪問先リスト作成(右表参照)、アポを取ってスケジュールを明確にする。全員参加/ペアで行動/昼間半日とする。訪問先で『紙芝居』で同友会の説明をする。切り札は会員企業の『経営指針書』の提示。

ワンゲスト例会

「ひとりひとり」だれか必ず一人のゲストを連れてくる。



スマホ・携帯を出し、『電話帳』から入会しそうな人のリストを作成する。

「伝える」ではなく、どうやったら「伝わるか」

- ✕ 「会員各位 あなた様の例会出欠の回答が未だです。運営に支障をきたしますので早急にご回答ください」
- 「会員各位 明後日は待ちに待った例会です。現在までのところ、返信がありません。一緒に学びましょう。回答お待ちしております」

採用時には「ガッツリ」理念を説明します。理念が共有できていければ時間も雇用形態も関係ない信頼関係が生まれます。

自社の強みを仕事に合わせる

その後も子育て中の主婦を中心にスタッフを増やしていきました。採用時には前田さんが「ガッツリ」理念を説明します。共感する仲間が増えていきました。雇用形態は勤務時間に応じて社員、パート、業務委託という形で請負うパートナーの3つあります。

一方、前田さんはメインの仕事は絞っていきました。アパート・マンションのエントランスホールやゴミ置き場などの共用部分の掃除を、時間制約なしで請け負っていきました。「特別な技術や道具がいる仕事ではありません。作業後の報告は、スマホのアプリにログインしてもらい写真を送ってもらうようにしています」

「やらされている感」がなく、スタッフが自主的にこなしています。自ずと質の高い現場になっていきます。評判が広がり、それに伴い実績は上がっていきました。

また、ピンクのスタッフジャンパーを着用して業務にあたります。「お子さんが手伝っている写真です」と前田さん

んはスマホから写真を見せてくれました。「将来このお母さんが自分の子どもに『あなたも仕事を手伝ってくれたんだよ』と話す日が来ればいいですね」と目を細めます。

紹介が紹介を呼んで、取引先が北九州・飯塚・久留米・関西・関東(埼玉県)に広がっていきました。「理念が共有できていけば、スタッフとの信頼関係に距離は関係ありません。出社できる人とは朝礼で情報を共有し、そのほかはスカイプやフェイスブックなど利用しています」

「時間は短いですけど、質の高い仕事をしています。これがウチの強みです。強みを仕事に合わせていくんです」平成25(2013)年に春日市に本社機能を移転、翌26(2014)年に「株式会社お掃除でつくるやさしい未来」と社名変更しました。

やさしい未来づくり

平成28(2016)年に1名、同29(2017)年に2名の新卒採用をしました。同30(2018)年にも1名が



「スタッフが現場に子どもを連れて行ったら子どもが掃除を手伝ってくれていました」

内定しています。「初めての仕事に『お掃除』を選んでくれるのは嬉しいですね。その中の一人は掃除をして『とてもスッキリした』というのが志望動機だったそうです。そこで前田さんは「これがあなたの喜びにしよう」と論ずることも忘れません。

「たとえば、ウチのスタッフが自分で稼いだお金で旅行したとします。旅先で同じスタッフジャンパーを着て仕事している人を見かけたら嬉しいですね。地域に働く場がないからと言って出ていく若い人が多いですが、地域で完結できる仕事があるんです。お掃除もその一つです。地域貢献したい、それが私の『やさしい未来』づくりです」取材の最後に前田さんの考える自立型企業についてお伺いしました。

2月の行事案内

23金 18:30~20:40 **久留米支部 2月例会**

社員教育で顧客満足を勝ち取る
■ **みんくる会議室** 久留米市六ツ門町3-11 ☎0942-30-9067
■ **川村 芳子氏** 株式会社萃香園 代表取締役社長 久留米支部
常時接客する業務で、正社員・派遣社員が混同している中、いかに派遣社員を正社員同様に接遇させるか。そのマナーなどを身につける社員教育のシステムをご報告いただきます。会社概要、これまでの歩みを含め、現在後継としておられる息子さんごとのように継承していくかもお話しいただきます。

23金 18:30~21:00 **女性部委員会 2月例会**

企業訪問例会
■ **横上杉スプリング商会** 福岡市博多区上牟田1-16-5 ☎092-411-6147
■ **松本 好重氏** 株式会社上杉スプリング商会 代表取締役社長 南支部
本例会では、「女性力」を強みに変えてこられた実践報告から、女性が働きやすい職場、女性が育つ職場づくりを学びます。

第18期 経営指針作成2泊3日セミナー
2月23日(金) 9:30~25日(日) 16:00
■ **グローバルアリーナ** 宗像市吉留46-1 ☎0940-33-8400
申し込み締め切り2月9日(金)
参加については事務局担当 森元までお問い合わせください。
参加費45,000円(再受講35,000円)

27火 18:30~21:00 **南支部 2月例会**

ガッツだけ!だけじゃない!幾多の試練を乗り越えて
〜一歩ずつパワフル魂と優しさで磨き上げてきた、しなやかな経営者としての器〜
■ **天神ビル11階** 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
■ **金光 孝男氏** KEENカンパニー株式会社 代表取締役 南支部
経営者として「今までの流れ」を変えるというのは決して楽なことではありません。自分での自分の生き方にメスを入れるほど、痛みを伴い勇気のいることはないでしょう。

人事・労務の基礎知識セミナー
ミスをしないための給与計算の仕方
2月27日(火) 18:30~21:00
■ **GGソーラービル** 福岡市中央区天神3-4-9 ☎092-714-0451
人を生かす経営において、社員が意欲を持って仕事に臨み能力を発揮できる仕組みを作ること、また、労働条件の最低基準を少なくとも守ることは大切です。労使関係を常に安定的に保ち、働く人が仕事と生活を調和させながら安心して働くことができるように、啓蒙していくためのセミナーです。

27火 18:30~20:30 **国際交流委員会 2月例会**

アジアの活力を九州へ ~香港現地拠点からの発信~
■ **エヌビーエス㈱** 会議室 福岡市博多区奈良屋町5-10
■ **渡辺 大輔氏** 渡辺大輔有限公司 代表
香港在住ならではの視点で九州企業とアジア市場のつながり方について語っていただきます。(委員会18:30~19:00、例会19:00~20:30)

27火 18:30~21:00 **FAST2月例会**

地域資源と新規販路の見つけ方
~テレビにも取り上げられた実践体験談~
■ **振興センター501会議室** 福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センター5F ☎092-622-0011

■ **森友 伸和氏** 福岡県よろず支援拠点 コーディネーター
対馬の地域資源を見つけて「(有)対馬ふるさと倶楽部」を15年間経営。又子会社・関連会社を3社設立。平成21年に設立したご当地プリン製造販売会社「(株)杏の樹」が爆発的大ヒットさせた男のお話。

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。
お申し込み、お問合せは、
e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。

県南地区 あすなろ塾 **有明会場**
2月3日(土) 10:00~17:00
■ **あめんぼセンター** 柳川市一新町3-1 ☎0944-74-4111
『あすなろ塾』は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加していただきます。経営指針作成の第一歩である、『あすなろ塾』を受講し自社の経営理念を見つめなおしましょう。
□参加費(昼食代含む) 会員:2,000円・会員外:3,500円

同友すばる委員会 事業承継塾第5講
事業承継時のトラブル
2月3日(土) 14:00~17:00
■ **電気ビル共創館3F** 福岡市中央区渡辺通2-1-82電気ビル本店隣 ☎092-714-5743
■ **辻本 聡氏** 辻本聡税理士事務所 税理士 福友支部
昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。社長の「心意気」を伝え、企業の実存意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があります。(受講料:2,000円)

13火 18:30~20:30 **青年支部 2月例会**

会社倒産の危機!
残った者みんなで歩み続けた18年間
■ **アクア博多** 福岡市博多区中洲5-3-8 3F ☎092-733-1310
■ **永松 拓陸氏** 株式会社香椎造園 取締役 青年支部
経営とは何なのか?事業を存続させるとはどういうことなのか?沢山の犠牲を払いつつも、大きな決断を行い、あきらめずに歩み続けた今日までについて、自身の経営体験を報告していただきます。

13火 16:00~18:00 **ソーシャルビジネス委員会 2月例会**

働き方改革実現会議 ~ボスたちの本音 de トーク~
■ **まぜこぜむら** 福岡市博多区古門戸町7-8 大申公認会計士・税理士事務所2階
■ **小津 智一氏** 株式会社OZ Company 代表取締役 糸島支部
現在、国が進める「働き方改革」、また全国の企業や行政に広がっている「イクボス推進運動」。小津氏による「なぜ、今、働き方改革なのか」を報告いただき、その後、全員参加型のディスカッションを行います。「在宅勤務でうまくいくの?」「働き方改革で業績が伸びるか?」「経営者にとって不都合・」など多様なボスの本音トークを交わしながらこれからの働き方を考えていきます。

15木 18:00~20:30 **福博支部 2月例会**

「なんとかしたい」思いだけでは倒産しますよ!
■ **アクア博多** 福岡市博多区中洲5-3-8 3F ☎092-733-1310
■ **大森 清美氏** 三益製薬株式会社 代表取締役 福博支部
経営をしていれば良い時も悪い時もあります。悪い時には必ず問題点があるはずですが、問題点を解決しなければ経営は改善できません。今回は大森さんの体験報告から自社の問題点や問題解決にむけた具体的な行動(計画)を考える例会です。

15木 18:30~21:00 **中央支部 2月例会**

地球が舞台。経営理念のお客様第一主義を実践
~サラリーマンから中小企業家への歩み~
■ **天神ビル11階** 福岡市中央区天神2-12-1 11F ☎0120-323-920
■ **東 和範氏** 株式会社九州トラベルサービス 代表取締役会長 中央支部
旅行業45年の経験から旅行情報のお話をはじめとし、地球を舞台に国内・海外旅行の豊富な経験を経営の目を通して語っていただきます。また、事業承継について、どのように従業員から後継者を選び、会社を託すのか、「譲る側」の視点からご報告いただきます。

15木 18:30~21:00 **西支部 2月例会**

同友会の学びがいつしか私を変えていた
~意外と知られていない公園指定管理の仕組みもお話しします~
■ **福岡ビル9階会議室** 福岡市中央区天神1-11-17 ☎092-716-8021
■ **生林弘太郎氏** 九州グラウンド株式会社 代表取締役社長 西支部
同友会での学びを活かし人員確保の取り組みに力を注がれる中で、経営者としての自分が変わってきたということに改めて気付いた体験報告をしていただきます。また、意外と知られていない公園指定管理の仕組みなどについてもお話しいただきます。

15木 18:20~20:50 **筑紫支部 2月例会**

創業して6年、がむしゃらに走ってきた男の現在
■ **筑紫野市生涯学習センター** 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
■ **吹田 顕氏** 株式会社リンクベジサポート 専務取締役 筑紫支部
これからの経営は、外部環境の変化に応じた事業の舵取りや事業転換が必要になる場合があると考えられます。創業した青果卸し業から新規事業を計画している吹田氏より、失敗経験や新しい取り組みを決断するに至った経緯を聞いてこれからの自社経営を考えます。

15木 18:30~21:00 **福友支部 2月例会**

変革する力 ~変化を恐れず挑戦し続ける経営者とは~
■ **WITH THE STYLE** 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3941
■ **古賀 清彦氏** 株式会社おお蔵 代表取締役 福友支部

19月 18:30~21:00 **有明支部 2月例会**

誰も教えてくれない『AI/IoT』の裏側教えます!
■ **会場未定**
■ **柿元 一徳氏** パーシモンズ 代表者 りょうちく支部
経営指針書を作るためには戦略思考が必要です。その戦略を立てるためには外部要因把握が重要となります。激変する情報通信社会にどう対応するのか?その情報通信の技術把握はどう行なうのか?業界歴17年の柿元氏がITの歴史を紐解き、あまりマスコミでは伝えないITの裏側、背景を掘り起こして、容易に未来を予測する方法を伝授します。その場で自分の業界や周辺業界の未来を知る、これでも怖くない!

20火 18:30~21:00 **博多支部 2月例会**

みんなの法律相談会 ~債権回収と労使問題~
■ **天神ビル11F** 福岡市中央区天神2-12-1 ☎092-721-3111
■ **是枝 秀幸氏** 鴻和法律事務所 弁護士 博多支部

20火 18:30~21:00 **玄海支部 2月例会**

経営者は歯がいのち
~ほんとに怖〜い歯の病気 あなたの歯は大丈夫?~
■ **都久志会館** 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
■ **山田 友康氏** 医療法人友知会 やまだホワイトクリニック歯科 理事長 玄海支部
今回は、やまだホワイトクリニック理事長山田友康先生を講師に、歯からくる全身の病気や歯で変わる人の印象、また予防方法などをお話しいただく予定です。会社の代表としては健康や見た目の大切さを再確認し、ご自身の健康管理意識を高めていただく機会にしたいと思っています。

20火 18:30~21:00 **糸島支部 2月例会**

私の同友会活用術! ~同友会は会社経営の練習の場~
■ **前原公民館** 糸島市前原東2-2-5 ☎092-322-2481
■ **池 加菜子氏** 行政書士いとしま法務事務所 行政書士 糸島支部
■ **仲西 勇人氏** 株式会社仲電気工事 専務取締役 糸島支部

20火 18:30~21:00 **飯塚支部 2月例会**

役立つ節税 ~知っておきたい正しい税金対策~
■ **バドゥール・コトブキ** 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
■ **林田 俊貴氏** アストル税理士法人 社員税理士 飯塚支部
経営者の最も大きな悩みのひとつとなるのが「税金」です。継続的に利益を出し税金を納め、社会的信用を得ていくことは私たち経営者の責務です。しかし、せっかく利益が出たと思って納税してみたら、その後の資金繰りが厳しかったということにならないようにすることも、経営者の努めではないでしょうか。正しく役立つ税金対策を勉強し、将来のリスクに対して少しでも利益を保存して会社の経営体質を強化していきましょう。

中山英敬氏、 第49回中同協定時総会にて 幹事長に就任

取材／貞池 龍彦(中央支部)

中山英敬氏(福岡同友会相談役理事・㈱ヒューマンライフ 代表取締役)が第49回中小企業家同友会全国協議会(以下、中同協)定時総会において幹事長に就任されました。6年と永年にわたって福岡同友会の代表理事として活躍をされてこられた中山氏が中同協50周年を迎える節目の年に、5万名会員をめざし全国津々浦々に同友会の輪を広げる頭首としての役割を担うことになりました。そこで、今回は一般会員には馴染みが浅い、中同協という存在、また、中山氏が引き受けられた幹事長としての役割について、うかがいました。

「まず中山さんにお聞きしたいのは、私も一般会員に馴染みが薄い中同協というのは、全国47同友会の上部団体という間違った認識もあるようですが、どんな位置づけになるのでしょうか？」

中同協とは「中小企業家同友会

全国協議会」の略称で、全国47都道府県の中小企業家同友会によって構成される協議体のことです。各地同友会の自主性を尊重し、その代表者(幹事)による協議によって、同友会の目的を達成するために必要な活動を行なっています。「同友会運動の全国のセンター」

と位置づけられ、その役割は、
①同友会理念を深め普及すること、
②各同友会の成果や教訓を集め全国に還元することです。

「これまで、幹事長は広浜泰久氏(現中同協会長)が10年にわたって、勤柄会長をサポートして来られま

した。その幹事長としての主な役目について教えていただけないでしょうか？」

幹事長の主な役割は、会の方針の執行を統括することです。今年度の活動の重点課題は、経営指針の実践企業を増やし、成果につ

なげることです。全会員が経営指針をつくることを呼びかけています。

『経営指針成文化と実践の手引き』や『企業変革支援プログラム』などを活用して成果を上げていきます。

また地域づくりでは、人材不足が深刻化する中、地域に若者を育て残す運動を提起しています。

ドバイスなどがありましたら、ひと言お願いします。

中同協は全国組織において、社会的に影響力が高まると言われる対企業組織率10%を展望しています。5万名会員は、その一里塚です。会員企業一社一社が社会的使命感に燃え、人を生かす経営を実践し地域と共に成長する。こんな企業が増えることで、地域の企業が良くなり、雇用も増え、地域の元気がつながります。

福岡同友会も2019年2500名に向けて、同友会運動に誇りと自信をもって仲間を増やしていきます。経営指針に基づく企業づくりの輪を広めることが、自社と地域の未来を拓きます。

「いよいよ中同協も50周年を見据え5万名体制を目指しています。この5万名という数字の意味するところ、そして私も福岡同友会会員が目指すところについて、ア



中同協会長の広浜泰久氏

今日はありがとうございました。

これから全国行脚して得られた同友会のエキスをぜひ自社経営に活かし私どものお手本として会社を発展させてください。ご期待申し上げます。

2017年度 第8回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2017年12月20日(水) 14時30分～17時40分
会場 福岡県中小企業振興センター202会議室

出席 48名(出席率75.0%)
議長 貞池龍彦(副代表理事)

協議・審議事項

1 2018年度運動方針骨子案について

2018年度の運動骨子案が提案された。理事より出された意見を踏まえ、再度正副代表理事会で検討することとなった。

2 2018年度の活動について

① 共同求人委員会基本方針&2018年度活動計画
共同求人委員長より共同求人活動の基本方針及び2018年度の活動計画が報告された。

報告事項

1 この1ヶ月間の活動について

「2018年度福岡県中小企業政策に関する連携と協働の提言」提出結果報告
政策金融室長より12/19(火)に「2018年度福岡県中小企業施策に関する連携と協働の提言」を提出した旨報告された。

2 会員企業の動きなど

経営革新計画承認企業 2017年11月
(県40件/同友会会員・企業2件)
●富士食品(株) 井上 順善 氏(福友支部) 井上 明 氏(東支部)
(テーマ)非公開
●(株)宮原福樹園 宮原 博幸 氏(筑紫支部)
(テーマ)空き家の定期庭園管理事業の展開
※累計で福岡県全体では5,560件、会員企業は延べ414件

表彰

第16回福岡県男女共同参画表彰・
社会における女性の活躍推進部門
・計測検査(株) 坂本 敏弘 氏(北九州支部)

平成29年度
北九州市魅力のある介護の職場づくり表彰「優秀賞」
・(株)プロデュース 中原 亜希子 氏(ひびき支部)

理事会報告全文

e.doyuの文書管理(理事会報告-2017年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。



中同協・幹事長に就任した中山英敬氏



「福岡県中小企業政策に関する連携と協働の提言」 提出結果報告

日 時:2017年12月19日(火)15:00~15:30

場 所:県庁特別会議室

県参加者:小川知事/小島商工部長/古川中小企業振興課長

同友会参加者:田浦代表理事/樋口代表理事/新内代表理事/
坂本副代表理事/川畑専務理事/
玉井政策金融室長/坂田事務局長



小川知事を交えての集合写真



中小企業の業況に関する意見交換



提言内容について説明する新内代表理事

次 第

①出席者紹介

②同友会代表あいさつ(田浦代表理事)

同友会は自主的な会です。(会の説明・省略)今回の提言は、単なる提案ではなく、地域活性化のために県と中小企業家が協働しましょうという内容です。今日はよろしくお願ひします。

③同友会代表から知事に提言書を提出(手交)

④同友会代表から提言書の概要説明(玉井室長)

⑤知事コメント

17回目の提言、ありがとうございます。提言の内容については、来年度予算の中で、しっかり検討していきます。

現在、豪雨災害の被災地が、住宅・仕事共に回復するよう全力を挙げて取り組んでいます。皆さんの支援に感謝すると共に、更なるご協力をお願いします。

景気は緩やかに回復していて、中でも福岡は少し先行して回復しています。しかし、企業規模や業種によって、実感が違うようです。中小企業が元気になり、景気回復を実感してもらえるような、よりきめ細やかな支援をしたいと思います。また、雇用を増やすために地域の特性を生かした産業の振興をめざしています。中小企業振興条例はPRしていますが、中でも“ここは”という企業については集中した支援をしており、業績を上げています。この輪をしっかりと広げたいと思います。

人づくりは地域の要です。若者や子どもたちに、経営者の生の声を届け、中小企業を身近な存在として感じて欲しいです。仕事の意義を知ってもらう機会をつくりたいと思います。選択肢として提示して、チャレンジできる環境を、我々もつくっていききたいと思います。

⑥意見交換

出席した各社の景況感などを報告、意見交換を行いました。

※提言提出後、記者発表を行いました。



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索